

新宅 道和 選

特 選

しゆくだいをしながらとぶ蚊をうちはらいしばらく休んで計算にもどる

尾道市立向東小学校四年 杉本 陽平

【評】五月蠅い蚊をやっつける少々大げさな「うちはらい」がおもしろい。「計算にもどる」で短歌がピシリと決まっている。

水泳の時間は終わり体洗うシャワーの圧力意外に強い

尾道市立向東小学校六年 鑑廣 隼汰

【評】泳いだ後のシャワーの水圧が思いのほか強かった。これからも何気ない生活の一瞬を切り取った短歌を詠み続けてほしい。

「異常気象」「最高気温」「史上初」いつものことかとチャンネル変える

呉工業高等専門学校三年 武田 康志

【評】初句から第三句まで普通ではない気象用語。しかし異常が多usedれるとそれは異常ではなくなってくることに気づいた。

あさがおはなんじにさくのけさぼくが四じにおきたらもうさいていた

三次市立みらさか小学校一年 土井 孝弘

【評】朝顔が何時に咲くのか不思議に思い、四時に起きたらもう咲いていたということ、会話文で定型にきちんとまとめた。

水やりでもらった百円にぎりしめソフトクリームのれつにならんだ

庄原市立東小学校二年 中野 郁実

【評】ソフトクリームの列に作者も並んだ。払うお金はお手伝いをしてもらった百円玉。「にぎりしめ」が効いている。

駅伝の練習の後のユニフォーム汗くさいけどおいらの匂い

庄原市立口和中学校二年 坂村 隼斗

歩き方いつもと少し違ってるオリンピックの競歩見てから

県立三原高等学校二年 森野 未弓

身長差無視され続けてどこまでもずっと無視されるぼくのそんざい

広島国際学院中学校二年 中藤 慶心

猫見つけ後を追いかけひっそりとそこには子猫のお家があった

呉市立呉高等学校二年 松原 花梨

寝坊してチャリぶつとばし通学路彼が見えたら安全運転

呉工業高等専門学校三年 山根 仁

一斉に家族集まり武器を取り戦闘体制どこだゴキブリ

県立三原高等学校二年 岸田聡二郎

中二女子思春期到来荒れ狂う私の心は迷走ハリケーン

福山暁の星女子中学校二年 泉川 媛夏

推し話す日本語を聞き韓国語話せる日までノートを開く

県立呉商業高等学校二年 河野 結

夏の歩道触れた素肌が恥ずかしい次会うときは長袖にする

廿日市市立廿日市中学校二年 重田 凪沙

徹夜明け動かぬ頭働かせとったノートは解読不能

呉工業高等専門学校三年 岡田 涼那

満開の夜桜見ながら立ちどまり立ちどまりして坂道のぼる

尾道市立向東小学校五年

吉原 瑠夏

暑い夏怖い話を聞いたとき心の風鈴静かに揺れる

県立三原高等学校一年

安東 優希

夏休み祖父母の家に泊まったら花火のように上がる体重

県立三原高等学校一年

弓場 椋太

文系と理系選択悩むとき君がいるから理系にしよう

県立三原高等学校一年

原 拓海

なつの川ニジマスとってやいてたべたいのちにかんしゃのこさずたべた

庄原市立東小学校二年

宮田 秀朔

朝ねぼうラジオ体そう間に合わず目覚まし時計ふたつに増やす

庄原市立東小学校六年

山本 滯月

試合中「絶対勝つ」と口では言うが心の中では今日もダメかも

庄原市立口和中学校二年

居原 晁汰

友達と遊園地行く夏休み回しまくったコーヒーカップ

県立三原高等学校二年

玉那覇大葵

ばっちゃんのまがったこしをおしながらのぼるさかみちあせびつしよりだ

庄原市立東小学校二年

島田 悠利

休み前自転車事故で頭打ち何もできずに半分終わる

県立三原高等学校一年

田尾 龍誠